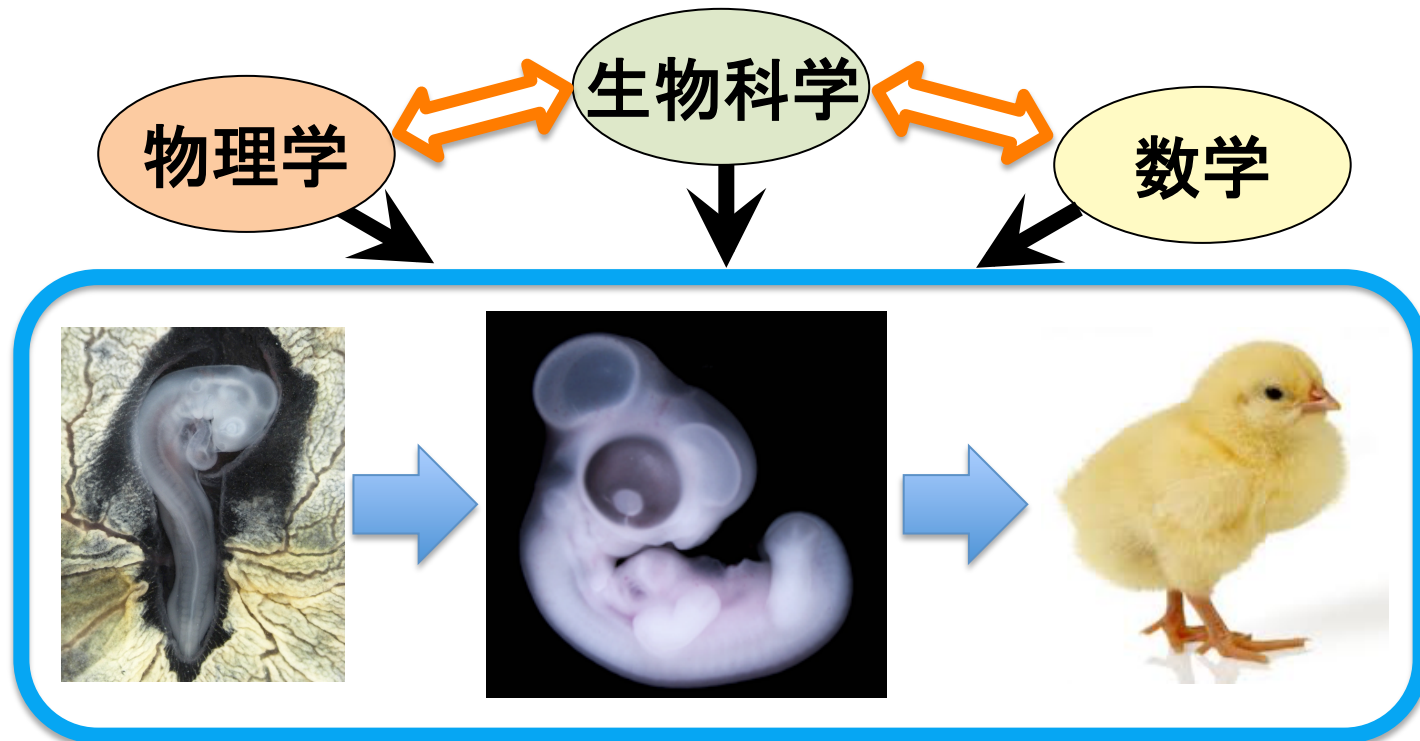


# [SG3] 本物を見て考えよう！： 脊椎動物の胚観察から数理の可能性を探る

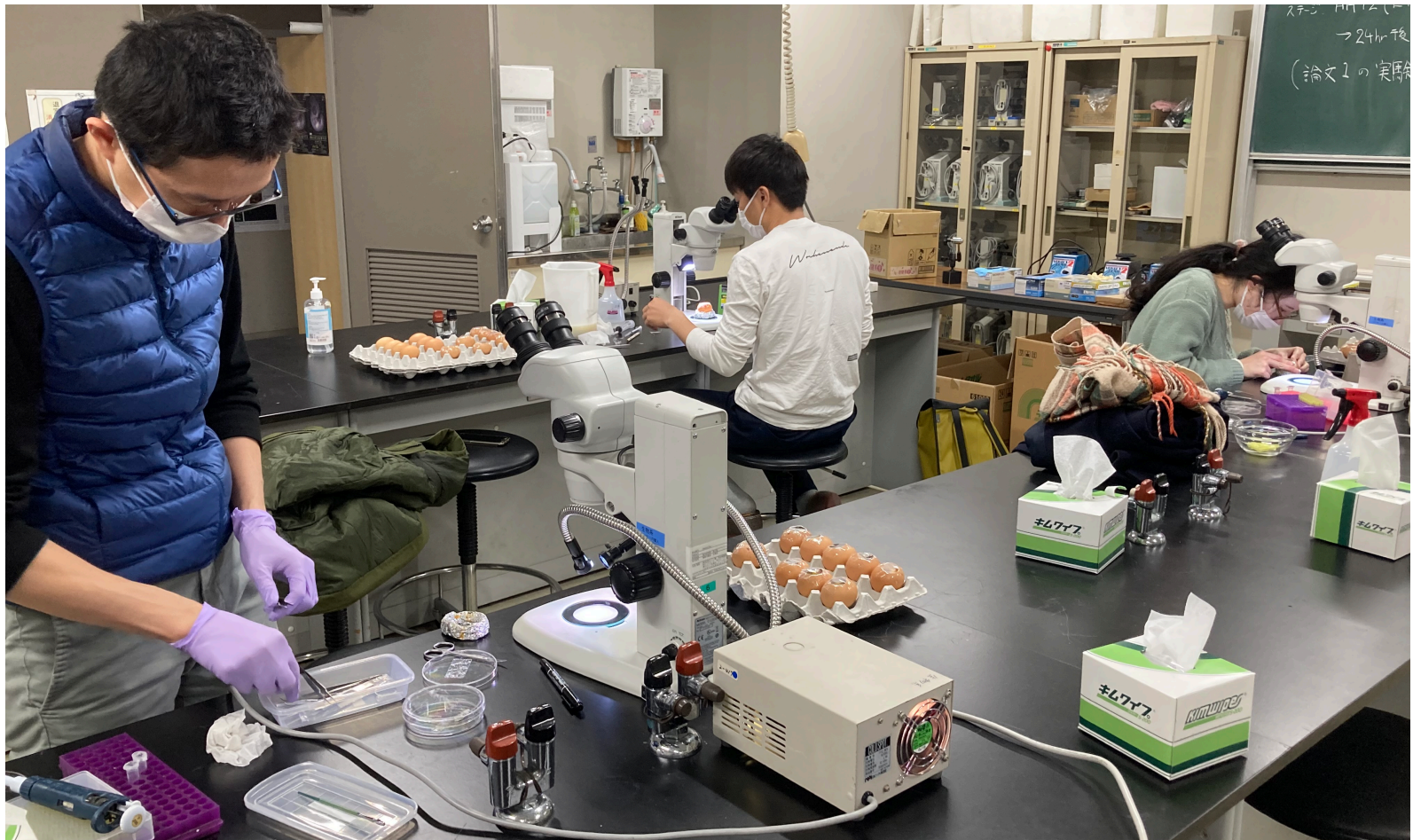


## [教員]

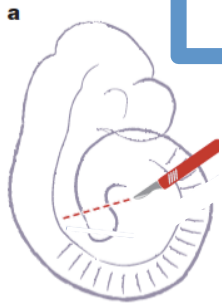
- 高瀬 悠太: 生物科学専攻(SACRA特定助教)
- 荒木 武昭: 物理学・宇宙物理学専攻(准教授)
- 國府 寛司: 数学・数理解析専攻(教授)
- 高橋 淑子: 生物科学専攻(教授)
- 稲葉 真史: 生物科学専攻(助教)
- 平島 剛志: 生命科学研究所・白眉センター(特定准教授)

# 本スタディグループの目的

- **実物を介して分野間の交流を深める!!**
- **発生現象を説明できる新規数理モデルを考える**

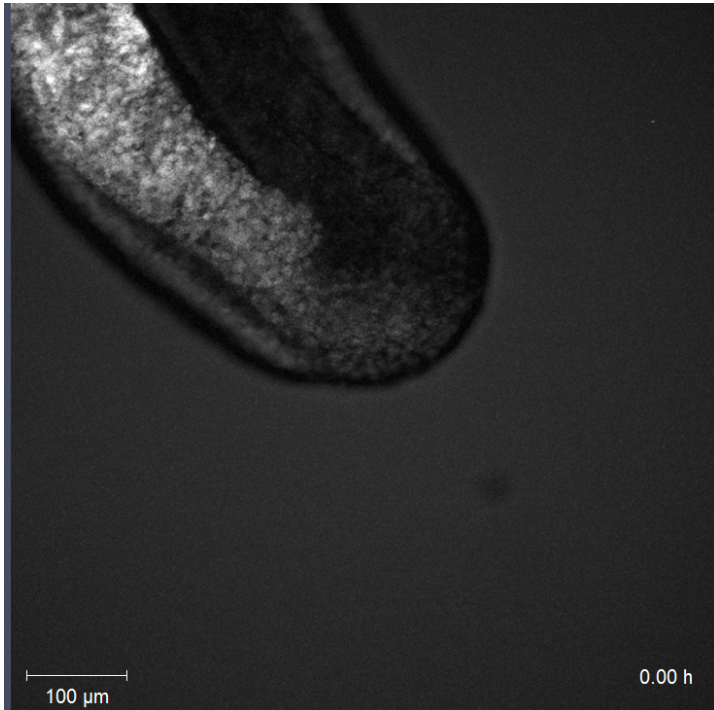


# 今回注目する題材:「振動現象」



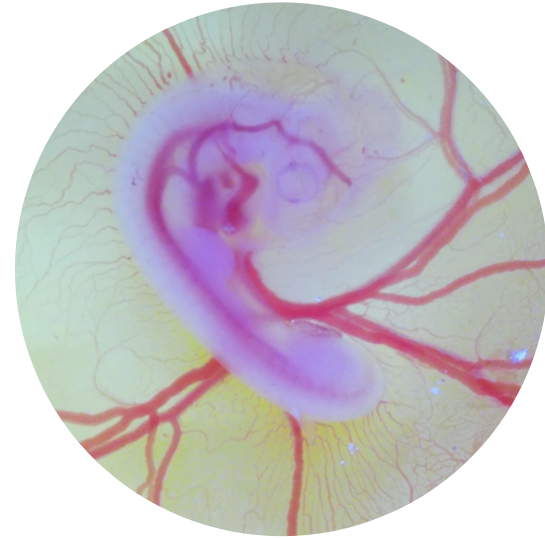
マウス胚 体節形成

周期的な遺伝子発現を可視化

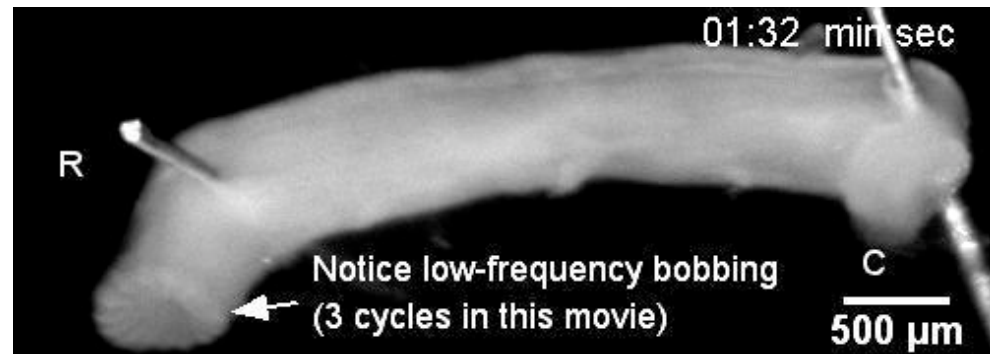


(Lauschke V. et al., *Nature.*, 2013)

トリ胚 心臓の拍動



トリ胚 腸のぜん動運動



(Chevalier NR., et al., *J. Physiol.*, 2019)

# 本スタディグループの実施内容

## 前期(5月～9月)

### ○体節形成(分子レベルの振動現象)

-論文の輪読(5, 6回)

-トリ胚の観察実習(1, 2回)

※対面形式の実習が可能であれば

## 後期(10月～翌3月)

### ○心臓の拍動・腸のぜん動運動など(細胞レベルの振動現象)

-論文の輪読(5, 6回)

-トリ胚の観察実習(3, 4回)

※対面形式の実習が可能であれば

主な活動日は隔週金曜5限(16:30～)を予定(オンライン+対面)  
(参加メンバーが最大限参加できる日程に調整します)